

部活動などの活躍

《中学生科学コンテスト》

優秀賞(実技部門)

〇〇〇〇さん(1-3)

〇〇〇〇くん(1-5)

《実用数学技能検定》

準2級取得

3級取得

4級取得

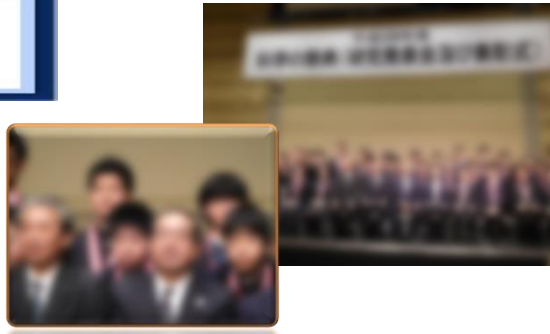
5級取得

《バレーボール部》

荒川区体育連盟主催 ジュニアオープン汐入大会

準優勝

[南千住なかよし祭ボランティア 感謝状]



バレーボール部の皆さん

南千住マイスターのコーナー

千住製絨所はその後、昭和20年まで操業が続き、終戦後は大和毛織が受け継ぎ、昭和35年まで操業をつづけました。時代の波に押し寄せられ操業を中止した後、跡地は様々な施設にその姿を変え、残念ながら現存しているものはこの赤レンガ塀だけです。近年、富岡製糸場の世界遺産登録に続き、軍艦島を始め、伊豆韮山の反射炉などが、明治日本工業の世界遺産に認定されました。もし、この千住製絨所が当時のままで残されていたら、きっとこの世界遺産の仲間入りしていたのではないのでしょうか。つまり、赤レンガ塀はそれだけの歴史と価値を持つ貴重な文化遺産だといえるのです。

南千住には神社仏閣以外の史跡・文化財も数多くある地域です。その代表ともいえるのが「赤レンガ塀」です。赤レンガ塀は、南千住6丁目の大手スパーマーケット脇の路地と荒川工業高校西側にあり、区の史跡として保存されています。この古いレンガ塀は、国内初の羊毛工業として明治時代に操業が開始された「千住製絨所」を囲っていた塀です。千住製絨所は、現在の荒川工業高校、大手スパー、天王公園、都水道局、南千住警察署、荒川スポーツセンターとなっている区域にあった広大な敷地をもつ大規模工場でした。それまでたいへん高価な輸入に頼っていた毛織物の生地を国産化し、軍隊の制服も木綿からウールに切り替えたいと考えた、時の内務大臣・大久保利通が、水運の良いこの地を選び開業しました。初代署長は日本毛織物工業の父とも呼ばれる井上省三です。省三の胸像と祈念碑がスポーツセンターにあります。



赤レンガ塀
千住製絨所跡地

南千住の史跡・文化財 第80回 『赤レンガ塀(千住製絨所跡地)』



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成28年12月
第69号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

私の長所は笑顔です

校長 齊藤 進

11月から連日、3年生との進路面接練習を行っています。面接練習では主に中学校生活や進路先の志望動機、自分自身のことなどについて質問しますが生徒は一樣に緊張した面持ちで臨んでいます。

ある女子生徒を面接した時のことです。その生徒に長所を聞いたところ、私の長所は笑顔です、私が笑顔になれば周りの人が幸せになり、周りの人が幸せになれば私も幸せになれる、という答えが返ってきました。この言葉を聞いて今の日本に忘れかけた大切なことを思い出させてくれたようで、何か心が洗われるようなすがすがしい気持ちになりました。自ら笑顔をつくって明るい世の中にしていくという心がけがあれば、どんな困難な状況も乗り越えていけるのではないのでしょうか。



話は変わりますが、笑顔や元気の源は食にあると、東京農業大学の小泉武夫先生による食育の講演会を思い出しました。下記は講演の概要です。

- 日本では年間2千万トンの食べ物が捨てられている。飢餓で苦しんでいる国があるのに、食糧自給率が先進国で最も低い国が最も食べ物を捨てている現状を真剣に考えなければならない。
- 江戸時代は箸をもつことは食べ物への感謝を表し、食べ物を残してはいけない、箸をもったら残さないということである。
- 食べ物と心の安定は密接に関連していて、土や海といった自然界から採れる食材が心身の健康にもっともよい。健康でしかも長生き世界一の鹿児島県奄美大島と徳之島の人々はこれらを食している。薬食同源、医食同源というように食は薬であり、病気を治す医者である。
- 地産地消を奨励している高知県南国市では子供たちが健康で、いじめがなくなるとともに、学力が向上した。
- 日本人が一番元気で、心が安定する食材はつぎの6つである。
①レンコン、ごぼう等根のもの、②ほうれん草、小松菜等葉のもの、③くだもの類、④大豆、とうふ等豆類、⑤魚、⑥海草である。これらの食材はミネラルが豊富で、ミネラルはアドレナリンを抑える効果がある。これらの食材が使われるのは和食であり、和食が日本人にはもっとも適した食べ物である。

小中学校での暴力事件や福島県から一時避難してきた生徒へのいじめ問題などに接するたびにスナック菓子やカップめん、ジュース、肉中心の食生活で育った子供と徳之島の子供たちは心の安定度が違うような気がしてなりません。笑顔の世の中になるよう私たちの食生活をもう一度見直してみたいかがでしょうか。

2学期は清里移動教室、連合体育大会でしたが、生徒の皆さんにとってすばらしい思い出になったことと思います。平成28年も残すところわずかとなりま



路をしっかりと見つめ学力向上に努めましょう。1・2年生も同様に充実した冬休みを過ごしましょう。

笑顔で今年を締めくくり、新年を迎えることを願っています。

2年生 性教育講演会

11月14日(月)の午後、帝京科学大学の齋藤益子先生と東京産婦人科医会の木村好秀先生を講師にお招きして、2年生の性教育講演会が行われました。前半の全体会では“思春期をむかえると、心や体にどのような変化が起こるのか”“命はどのようなメカニズムから生まれるのか”など「性」に関する知識や「命」の大切さ、そして性感染症などについて映像を交えながらお話しいただきました。はじめは少し照れた表情だった生徒たちも、お話が進むにつれて、自分が大人になった時に体験する大切なこととして、真剣な表情で聞き入っていました。後半はクラスごとに男女に分かれ、帝京科学大学の学生さんを交えて、グループワークが行われました。ここでは、妊婦体験をしたり、新生児の人形を抱いてみるなどの貴重な体験ができました。また、歳の近い学生の皆さんとの話は大いに盛り上がり、大変充実した時間となりました。将来に役立つとても大切なことを学ぶことができました。

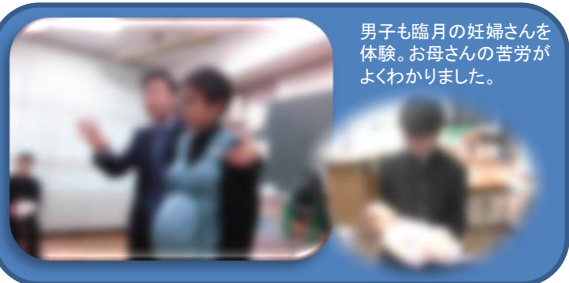


女子のグループワーク



男子のグループワーク

男子も臨月の妊婦さんを体験。お母さんの苦勞がよくわかりました。



優しい表情で、大事そうに赤ちゃんを抱っこする女子の皆さん。



1年生 小さな大人の図書館



学校司書の〇〇先生

11月17日(木)に、1年生を対象とした学校図書館のオリエンテーション『小さな大人の図書館』が実施されました。“小さな大人”とは、“相手の気持ちを理解する人、困っていたら助けてあげることができる人”のことで、1年生にとっての目標です。この日は、各クラスごとに1時間を用いて、学校司書の上原樹代先生から、学校図書館の役割や12,000冊に及ぶ蔵書・雑誌、新聞など情報の種類、人間が考える段階に合わせて作られた分類の仕方などの説明を受けました。そして、小さな大人の図書館ならではのサービスが、レファレンスサービスです。大人が利用する図書館と同様に、利用者の問い合わせに応じ、司書の方が図書の照会や検索を行ってくれます。この日は、南千住二中学生のレファレンス事例を具体的に3つ紹介いただきました。「エコノミストになるための進路」はそのひとつ。どこから調べていけばいいか、漠然としたテーマですが、司書の〇〇先生が、資料を数冊提示して、アプローチの仕方や考え方、まとめのポイントなどをアドバイスして解決しました。これから興味や関心が広がり、学習も深まっていく1年生はぜひ活用したいものです。10代のみんなに読んでもらおうのを待っている本が南千住二中の図書館には数多くあります。たくさんの本を読んで、自分の言葉と知識、そして世界を広げていきましょう。



図書の分類の仕方について



学校の心臓部と呼ばれる図書館の役割について



オリエンテーション後、早速読書をはじめる1年生

杜明パレード

12月4日(日)、南千住地区『社会を明るくする運動』の街頭パレードが行われました。これは、青少年育成南千住地区委員会が“非行のない明るい街づくり”を目指して、毎年12月に行っている活動です。今年も、開会式に披露される地域の天王太鼓の打ち手として、3年生の〇〇〇〇(1組)と〇〇〇〇さん(2組)が参加。勇壮な舞いと演奏を披露しました。パレードには吹奏楽部31人が参加。南千住二中の校庭をスタートして、コツ通り、仲通り、荒川一中までのコースを演奏しながら行進しました。この日演奏した行進曲は、「荒川そして未来へ」「聖者の行進」「負けないで」の3曲。1か月ほど前から練習を重ね、実際に楽器を持って1時間近くを演奏しながら歩く訓練も行ってきました。当日は冷たい風が吹く中、パレードの先頭に立ち、休むことなく長い道のりを演奏し続けました。威風堂々とした行進は大変立派でした。明るく元気なマーチングソングが街に響き、南千住の街がさらに活気にあふれる1日でした。吹奏楽部の皆さん、お疲れさまでした。



環境委員会 落ち葉掃き

南千住二中の校舎周辺には、多くの街路樹や樹木に囲まれた緑道などがあり、初冬を迎える頃には、たくさんの落ち葉が道路を覆います。毎日主事さんが掃き集めますが、その量には追いつきません。そこで、毎年生徒会環境委員会が委員会活動の一つとして、早朝の落ち葉掃きを行っています。今年も11月25日(金)～12月9日(金)の2週間、毎朝8時に登校して、生徒の登下校や近隣の方々の生活道路として利用されている緑道を中心に清掃しました。この間に集まった落ち葉の量は、90Lのゴミ袋5つにも上りました。おかげで、校舎周辺も道路もすっきりきれいになりました。通勤や通学で行き交う人から「ご苦労さま」「いつもありがとう」と声を掛けていただくこともあり、掃除の後には体も心も暖かくなりました。



緑道を清掃する1年生



大きなちり取りがすぐに落ち葉でいっぱいになる...

年賀状作り

12月に入り、レスキュー部では、年賀状作りを行いました。これは、荒川区社会福祉協議会の依頼を受けて、区の『みまもりネットワーク事業』に登録している一人暮らしの高齢者の方々へ年賀状をお送りする活動に協力して毎年行っています。加えて、南千住二中の『絆ネットワーク』に登録いただいている近隣の皆さまにもお送りしています。今年も、5日(月)と8日(木)の2日間をわたり、レスキュー部の有志25名が放課後の時間を利用して、合計100通以上の年賀状を書き上げました。日頃お世話になっている皆さまへの感謝とご健勝を願う気持ちを一枚一枚に込めて作った力作揃いです。

思い思いにイラストに取り組み2年生の皆さん

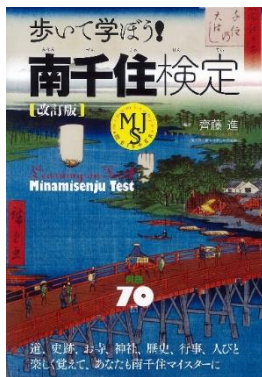


3年生の皆さん。1枚1枚真心こめて作りました。



楽しい年賀状ができました

第五回 南千住検定



今年で第五回を迎えた南千住検定が、12月10日(土)の授業公開日の3~4校時に行われました。来年度からは、生徒のみの開催となるため一般の受検者も交えての検定は今回が最後となりました。この南千住検定は新聞やテレビなどで取り上げられ、世間の注目を集め、一般の受検者は年々増加。今回が最後とあって、地域に限らず、交通機関を使って地方からいらした方々もあり、受検者は総計で55名に上りました。会場はアリーナを予定していましたが、感染性胃腸炎の感染防止対策として、生徒は各教室に、一般の受検者は1階多目的室に変更となりました。問題は、南千住二中とNPO法人千住すみだ川が発行する「歩いて学ぼう！南千住検定」(検定本)から出題されます。この日を目指して、生徒たちは総合の時間などで過去問に取り組んだり、検定本を読んで、南千住の歴史や史跡などを学習してきました。また、一般の方々が試験開始の直前まで熱心に勉強している姿も印象的でした。

採点はその日のうちに行われ、生徒は19日(月)の朝礼で級取得者の発表が行われ、認定証が授与されました。さて、その結果は…。生徒から2名のマイスター(98点以上)が誕生！3年生の〇〇〇〇さんと1年生の〇〇〇〇さんです。1年生の〇〇さんは、9月に行われた生徒のみの南千住検定につづき、2回連続のマイスターで、しかも100点という快挙です。また、1級(90点以上)を17人、2級(80点以上)を28人、3級(70点以上)を48人が取得しました。平均では3年生の68.8点がトップで、2年生の59.1点、1年生の54.6点と続き、全校平均が約60点という好成績で、日頃からの地域学習の成果が大いに発揮されました。一方、一般受検者からはマイスターが2人誕生。1級12人、2級17人、3級12人に上り、全受検者の実に8割近くの方が級を取得するという素晴らしい結果でした。おめでとうございます。そして、これまで南千住検定にご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

今回の試験の一部を紹介します。

- 千住製絨所とかかわりのある資料1の人物はだれか。
① 井上省三 ② 大久保利通 ③ 三条実美 ④ 佐久間貞一
- 資料2について、昭和30年代までは隅田川から水を引き込み、製材所の貯木場になっていたのは現在のどのあたりか。
① 隅田川駅 ② 汐入公園 ③ 天王公園 ④ 都立産業技術高等専門学校
- 素盞雄神社境内にある芭蕉句碑の建立とかかわりのある人物はだれか。
① 建部巢光 ② 長谷川雪旦 ③ 加藤雀庵 ④ 小林一茶
- かつて隅田川に生息し、狸などと同样に化けて人間に悪さをするとされる動物はなにか。
① カワウソ ② 畑を荒らす神馬 ③ あまのじゃく ④ 真先稲荷のきつね
- 素盞雄神社が創建されたとされる時代はいつか。
① 奈良 ② 平安 ③ 鎌倉 ④ 室町



上:資料1
下:資料2



マイスター取得者
3年3組 〇〇〇〇さん(99点)
1年1組 〇〇〇〇さん(100点)

1級取得者

2級取得者

3級取得者

健康委員会食育推進給食

12月14日(水)~16日(金)の3日間は、給食に“食育推進給食”の特別メニューが登場しました。食育推進給食とは、子どもたちが食に対する正しい知識とバランスの良い食生活を身につけることを目的として、学校給食全体のさらなるレベルアップを図るもので、荒川区より給食費の補助を受けて行っています。南千住二中では、今年ブラジルでオリンピックが開催されたことや次の東京オリンピックに向けて、世界の食文化を学び味わうために、諸外国の料理を取り入れています。今回は、オリンピックが初めて開催された「ギリシャ」と古くから日本と親交のある「タイ」、そしてリオデジャネイロオリンピックが開催された「ブラジル」の料理を実施。子どもたちの口に合うようにと味付けや食材はアレンジしてありますが、どれも本格的な料理です。生徒たちからも、「はじめて食べた」「おいしい」という感想が上がり、どのクラスからも、おかわりが続きました。また、これに先立ち、健康委員会では、各国の歴史や特色、食習慣などを壁新聞にまとめて紹介しました。

3年生がギリシャ、2年生がブラジル、1年生がタイを担当し、タブレットを使ったり、図書館で調べてわかりやすくまとめられており、こちらも大好評でした。健康委員会の皆さん、いつもおいしい給食をつくってくださる栄養士の〇〇〇〇、調理員の皆さん、ありがとうございました！

ギリシャ料理 12/14(水)

あしたばパン、ムサカ、ギリシャ風レンズ豆スープ、マンゴー入りヨーグルト



ムサカはギリシャの伝統料理で、なすやじゃがいも、ミートソースやホワイトソースが層になっています。

タイ料理 12/15(木)

ガパオライス、クイッティオ、パイナップルケーキ



ガパオはハーブの1種で、挽肉や野菜と炒め、ナンプラーで味付けします。クイッティオは米粉の麺入りのスープです。



パステウは揚げ餃子のような料理。フェジョアーダは、豆や肉類など色々な食材を煮込んだ料理です。

ブラジル料理 12/16(金)

バターライス、パステウ、きゅうりのマリネ、フェジョアーダ



※写真にはありませんが、すべての給食に牛乳がつかます。